



特集

# 春の瀬戸内へ

瀬戸内国際芸術祭 2013 開幕



香川の  
美術館を  
訪ねて



## 美しい自然の中に佇む 香川県立東山魁夷 せとうち美術館



日本画の巨匠、東山魁夷の日本画7点と版画約300点を所蔵する美術館。瀬戸大橋を一望できる絶好のロケーションにある。設計を行ったのは、丸亀市猪熊弦二郎現代美術館やニューヨーク近代美術館の新館を手掛けた谷口吉生氏。周りの風景に溶けこんだ美しいアプローチが、来館者を迎えてくれる。展示室は1階と2階に分かれており、各階でテーマを設けて作品が展示される。静寂な空間に並ぶ、優しい色合いの作品群に目を奪われる。美術館のさなる魅力が、魁夷の祖父の生まれた瀬戸内を望む瀬戸内の風景を大パノラマで楽しめるラウンジスペース。カフェもあり、ここでティータイムを楽しむ人は多い。

美術館がある沙弥島エリアは、「瀬戸内国際芸術祭2013」春の舞台。開催に合わせ、テーマ作品展「山々の讃歌／信州への旅」「風景にたえず白い馬」が4月21日まで開催される。他、3月23日と4月13日には関連事業としてのコンサートがある。

香川県立東山魁夷せとうち美術館  
 坂出市沙弥島字南通224-13 TEL0877-44-1333  
 月曜休館 / 「瀬戸内国際芸術祭2013」春の開幕(3月20日～4月21日)は休館。



SETOUCHI  
TRIENNALE  
2013



# 特集 春の瀬戸内へ

瀬戸内国際芸術祭 2013 開幕

会期

春：2013年3月20日(春分の日)～4月21日(日)

夏： 7月20日(土)～9月1日(日)

秋： 10月5日(土)～11月4日(月)

会場

【3シーズン(春・夏・秋)開催エリア】

直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港・宇野港周辺

【1シーズン開催エリア】

春：沙弥島

夏：伊吹島

秋：本島、高見島、栗島

海と島々、そこに住んでいる人の素晴らしさを  
アートを通じて明らかにします。

加えて今回は、しっかり地に足をつけて  
瀬戸内海の魅力を掘り下げます。

国際的な広がりは前回の比ではありません。

世界に「瀬戸内海」を広く発信します。

瀬戸内国際芸術祭実行委員会総合ディレクター  
北川フラム



制作過程は作品に  
影響を与える

西堀 隆史

タイ在住、キングモンクット工科大学トンブリ校で教壇に立ちながら、住宅や店舗、イベントなどのデザインを手掛ける。アジアを中心に、幅広い分野で活躍中。

男木島の民家を改装し、和傘の骨を使って「時の廊下」を制作する西堀隆史さん。その作品づくりの現場に伺った。

2010年の瀬戸内国際芸術祭では、約6000枚の丸亀うちわの骨で民家を覆った西堀さん。今回は、香川の伝統的工芸品の一つ、高松和傘の骨の部分を使う。照明とモーターを組み込まれた約650本の傘の骨とその影が、男木島の民家を包む。

日本を飛び出して15年、現在はタイの大学で教壇に立っている西堀さん。前回は引き続き、竹細工を作品の媒介物に選んだのは、今の生活環境が影響している。タイでは、日用品として竹製品が使われている。触れる機会が増えることで、そのおもしろさに気付き、自然な流れで作品に竹細工を使用するようになったという。あえて製品として完成する手前の状態を用いるのは、「つなごりの中的一部分」を表現しているからだ。

作品で使用する大量の傘の骨を制作するのは、ボランティアサポーター。こえび隊のメンバー、高松和傘の伝統工芸士である三好寛明さんに指導を仰ぎながら、10名ほどのメンバーが二つ二つ手作りしている。「完成した作品と同じくらい、制作の過程が大切」と考えている西堀さんは、忙しい時間の合間にタイから来て、その輪に加わり一緒に傘を作ること



を楽しみにしている。こえび隊に交じって手を動かし、語り合い、笑い合う姿は印象的だ。

「制作過程で感じたことが、必ず作品に影響を与えます。そういう意味では、制作に関わってくれた全員が作品です」。その思いが伝わってか、前回から続いて、傘作りに協力しているメンバーも多い。

芸術祭が始まれば、西堀さんは時間の許す限り男木島に滞在したいと言う。今度は作品を鑑賞する方とのコミュニケーションを楽しみにしている。



生命の源との  
コミュニケーション



長澤 伸穂

東京出身、NY在住。ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校教授。オランダ国立芸術アカデミー、ベルリン芸術大学などで美術を学ぶ。大学で教壇に立ちながら、精力的な制作活動を行っている。

小豆島の肥土山地区で、「うみのうつわ」を展示する長澤伸穂さんに、作品に込めた思いを伺った。

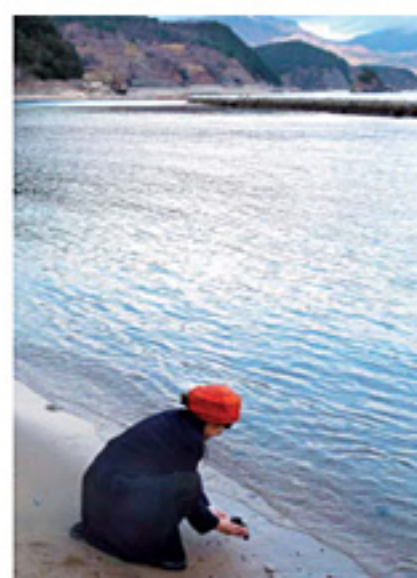
真っ暗な倉庫の中に足を踏み入れると、光に包まれた船が現れる。その船の中に入って船底に横たわり、湧き出てくる思いや感情に身を任す。これは、長澤さんの作品のイメージ。鑑賞者が二人ずつ、倉庫の中で光る「うみのうつわ」の中に入り、アートを体感する作品を考えている。長澤さんは、ニューヨークの州立大学で美術を教える教授。昨年、瀬戸内海を訪れ、自分の目で風景を確かめて、今回の作品案を提出した。その時に感じた瀬戸内海のイメージが作品づくりに生かされている。

モチーフになっているのは、かつて瀬戸内海を行き来していた和船。瀬戸内海歴史民俗資料館から資料を取り寄せて、ステンレスのフレームでフォルムを再現し、その躯体に、光ファイバーを織り込む。京都西陣織の職人の考案により織られた特殊な光ファイバーは最先端の技術と、伝統的な技を組み合わせることで生まれた。今までになかった試みである。この美しく織られた光ファイバーの船を、長澤さんは瀬戸内海の波の音とリンク



させる。小豆島の海岸で録音したさざ波の音を光の波長に置き換えることで、光に明滅のリズムをつけるのだという。光ファイバーの色は海のさざ波と呼応し、呼吸しているかのごとく、紺碧色のグラデーションにゆっくりと変化する。

「人間は海から生まれました。いのちは、母親の胎内では、海と同じ羊水の中で育まれます。船が放つ光の鼓動。瀬戸内海のさざ波の波長。船底に横たわり、生命の源となる水と一体になってほしい」。その思いは「うみのうつわ」という作品名にも込められている。ひらがなにすることで意味を固定せず、「海の器」「産みの器」など、鑑賞者が自由に「うつつわ」の意味を享受することができる。<u>vessel</u>という英語は、器という意味の他に、水上を浮遊する船を意味するが、長澤さんは船に「人生の揺りかご」という思いを託して、英語の命名は、「Cradle of life」(うみのゆりかご)にした、と語った。





## 高松港周辺 [3シーズン]

高松港は、芸術祭の会場となる島へ渡る母港。アート作品の展示やイベントに合わせ、四国内の産品が集まるマルシェが開催され、来場者をもてなす拠点となる。



ジャック・プランク「男木島の魂」

## 男木島 [3シーズン]

男木島は、斜面に集落が連なる島。その地域性を生かし、入り組んだ路地を体感できるように作品を配置し、鑑賞を通じて島の伝統に触れられる仕掛けを作る。作品の展示には、休校中の男木小・中学校を活用し、アーティストが講師となるワークショップも開催される。



## 小豆島 [3シーズン]

瀬戸内海のレジャーアイランドとして名高い小豆島では、地元の特産品を生かしたさまざまなプロジェクトが展開される。作品展示は、盆地の農村地帯である肥土山地区から中山地区、土庄港付近の迷路のまち、三都半島、坂手港に近い盤の郷など、島の各所で行う。空き家プロジェクトやインスタレーション作品が展開される。



## 大島 [3シーズン]

美術を通して、国立療養所大島青松園の住民と来島者の交流を深め、大島に豊かな空間を創り出している「やさしい美術プロジェクト『つながりの家』」の活動を発展させる。

# 瀬戸内国際芸術祭2013 開催エリア紹介

会期  
春：2013年3月20日(春分の日)～4月21日(日)  
夏：7月20日(土)～9月1日(日)  
秋：10月5日(土)～11月4日(月)



草間彌生「赤のぼら」

## 直島 [3シーズン]

世界的に知られるアートの島。多くのアート施設を生かし、芸術祭の中でも中心的な会場となる。恒久展示となる「ANDO MUSEUM」など、新たな施設の整備と展示作品の入れ替えにより、島内のアート資源が一層充実する。



## 豊島 [3シーズン]

風景に溶けこむ美しい「豊島美術館」や「島キッチン」を中心に、アートの島としての知名度が高まる豊島。豊かな水と肥沃な土地を誇る自給自足の島として、「食」と「アート」をテーマにしたアートプロジェクトを展開する。



## 沙弥島 [春]

万葉集で柿本人麻呂の長歌に詠まれた歴史の深い島。昭和42年の埋め立てで陸続きになったが、以降も沙弥島と呼ばれている。春シーズンのみの開催エリアは、この場所だけ。廃校である沙弥小・中学校を舞台に、「瀬戸内海の歴史」をテーマにした展示を行うほか、県立東山魁夷せとうち美術館をはじめ、周辺の文化施設とも連携する。



名も知らぬ漁師より  
戸矢崎満雄

沙弥島の海岸に沈められた発泡スチロールを、学校の廊下につり下げる。窓からの光に照らされると、新たな姿が見えてくる。

## 夏から秋の開催



## 高見島 [秋]

映画のロケ地にもなった、建のある静かな島。廃校となった高見小・中学校や空き家を活用した活動を行う。来場者には、地域の伝統的な食文化である「茶がゆ」が振る舞われる予定。



## 栗島 [秋]

明治30年に、日本で最初の国立海員学校が設立された島。昭和62年に廃校になった後は、栗島海洋記念館として使用されており、誇りある歴史を伝えている。アート展示は、栗島芸術家村事業「栗島アーティスト・イン・レジデンス(栗島ART)」の作品が中心になる。



## 伊吹島 [夏]

日本で唯一営業の中に平安時代のアクセントを残す島。他の島から離れ、静かに浮かぶ姿が愛らしい。いりこ漁で賑わう島の文化を活かしながら、アートを通じて歴史資産を明らかにする。



## 本島 [秋]

優れた航海技術を持つ遠征水軍の島として、戦国時代より栄えていた。江戸時代は、どの大名にも属さず、650名の船方(かぶら)として自治する特別な地域であった。塩田跡、千歳産、並島保存地区など、今も島に残る歴史資産を、生かしながら保存する活動を行う。

## 「瀬戸内国際芸術祭2013」作品鑑賞パスポート発売中

作品鑑賞には、それぞれ鑑賞料が必要なため、お得な「作品鑑賞パスポート」の利用がおすすめ。各パスポート有効期間中に1作品につき1回限り鑑賞できるほか、地中美術館、豊島美術館については、パスポートの提示で別途1000円で鑑賞できる。

※一部、作品鑑賞パスポートの対象外の作品・施設あり。

3シーズン券(会期中のみ有効)	春シーズン券
一般 5,000円	前売り 一般3,500円 高校生2,000円
高校生 3,500円	発売期間 2013年3月19日まで
発売期間 2013年4月21日まで	当日 一般4,500円 高校生3,000円

### 【販売窓口】

チケットぴあ(Pコード:3シーズン券765-450、春シーズン券765-451)  
セブンチケット(セブンコード:3シーズン券020-857、春シーズン券020-878)  
ローソンチケット(Lコード:3シーズン券63363、春シーズン券63360)  
JTBエンタメチケット(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルK、サンクス/商品番号:3シーズン券0233478、春シーズン券0223476)  
全国のJTB各支店、JTBトラベランド各店ほか旅行代理店など

**知事** 3年前に開催された「瀬戸内国際芸術祭2010」。大きな反響と素晴らしい作品の数々が残り、改めて芸術祭の実現にご尽力くださいました福武総合プロデューサーに心より感謝申し上げます。

「海の復権」をテーマに開催された芸術祭は、島の人々とアーティスト、ボランティア、そして来場のお客さまとの数々の交流を生みました。これにより島々が活力を取り戻し、瀬戸内海が地球上全ての地域の「希望の海」とな

ることを目指したわけですが、総合プロデューサーである福武さんの感想はいかがでしたでしょうか。

**福武** 総合ディレクターの北川フラムさんをはじめ、県の方々、アーティストやボランティア、島の皆さんが、この考えに共鳴していただき、芸術祭を共に創り上げてくださったことに、心から感謝しております。

この芸術祭は、世界でも例のない現代美術で過疎の地を再生しようというものですから、「島々が元気になっ

た」という声を聞けたことが一番の喜びでした。予想もしていなかった3倍近い数の人々が島を訪れ、当然それに対する十分な準備もできなかったと思いますが、それを乗り越えて、「良い思い出ができた」「ぜひ3年後もやりたい」という声が各地から寄せられました。

**知事** この3月20日からいよいよ「瀬戸内国際芸術祭2013」が開催されます。今回は中西讃の5つの島が新たに加わり、より多彩な島巡りを楽し

んでいたのではないかと思っております。今回の芸術祭の見どころや魅力についてお願いいたします。

**福武** 2010年の開催では、アート作品を見るところに重きを置かれていたように思います。今回はさらに5つの島が加わりますが、私は実際に島々を回り、地元の方に「あまり我々に頼らないでください。皆さん自身で芸術祭を創り上げてください。もちろん、お手伝いは十分させていただきます」とお願いしました。



公益財団法人福武財団理事長  
瀬戸内国際芸術祭実行委員会総合プロデューサー  
**福武 総一郎**

株式会社ベネッセホールディングス取締役会長、「ベネッセアートサイト直島」の活動をはじめ、2004年に地中美術館、08年に大島アートプロジェクト「輪読所」、10年に香島美術館を開設、それらを運営する(公財)福武財団理事長を務める。



「瀬戸内国際芸術祭2013」ポスター



香川県知事  
瀬戸内国際芸術祭実行委員会会長  
**浜田 恵造**

## 瀬戸内海の島々で 四季の移ろいを感じてほしい

浜田知事 ~~対~~ 福武総一郎

といいますのは、今回加わった5つの島を見ると、島の暮らしや歴史が特徴的です。その島の生活や文化をより表に出したいと考えました。例えば、伊吹島のいりこ漁、高見島は石垣の古い集落、粟島は海員学校、本島は塩飽勤番所などの貴重な歴史や文化が残されています。島というのは、ある意味孤立していますので、混濁せずに残されてきました。このような貴重な足跡が、非常に面白いところではないかと思えますね。

**知事** 全くその通りですね。また、今回の魅力の一つは、季節ごとの開催時期。桜を含め島々に花が咲く春、マリネレジャーなどでにぎわう夏、祭りや食などの味わい深い秋と、それぞれの季節に魅力があります。

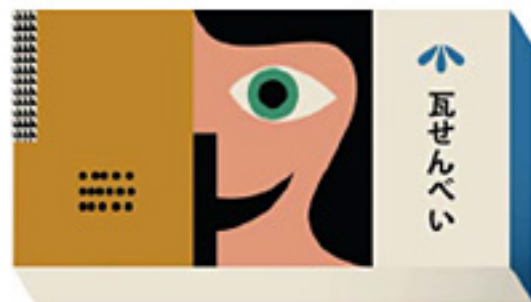
**福武** 国内外を問わず一人でも多くの方に日本の四季を感じていただきたい。瀬戸内海を訪れるのは、春は外国の方、夏は若者、秋冬はどちらかといえばシニア世代と外国の方が多いというデータがあります。今回はさまざま

まな方に、これまで訪れたことのない季節も楽しんでいただきたいと思えますね。また、今回は特に「食」にも力を入れていますから、春、夏、秋の食材と、それぞれに楽しんでもらいたいと思えます。

**知事** 春はサワラ、夏はマナガツオ、秋はチヌなど、ぜひ瀬戸内海の「食」の素晴らしさを味わっていただきたいものです。この芸術祭は、芸術に加えて風景と食、そして生活文化と本当にさまざまな楽しみ方がありますね。

**福武** 今回は舞台となる島が増えたわけですし、作品や暮らし、歴史などを島内で見ただけでなく、島と島の間をクルーズする旅も楽しんでいただきたいと思えます。美しい瀬戸内海と島々を眺めていると、必ず何かを発見することでしょう。それは、多くの人々に感動を与える旅になります。素晴らしい作品の数々をじっくり鑑賞していただきたいのは言うまでもないことですが、せっかくですから島から島への旅をゆっくりと味わっていただきたいですね。

**知事** 島から島への旅、ぜひ体験していただきたいと思えます。瀬戸内国際芸術祭の開催で、現代アートをきっかけに、今回も島々がその島にしかない本来の魅力を発揮してほしいと願っています。前回より開催エリアとゾーンが拡大し、さらに魅力は深く、多彩になりました。ぜひ、多くの皆さまに、「瀬戸内国際芸術祭2013」にお越しいただき、そして、香川県に幾度も足を運んでいただきたいと願っております。



### お城の瓦が甘いせんべいになった 瓦せんべい

高松城の瓦から、その形がひらめいたという「瓦せんべい」。讃岐特産の白下糖を使い、一枚一枚手焼きされた香ばしさと歯ごたえが自慢。  
(株式会社 宗家久つ和堂)



### ロゼワインのようなお酒 リセノワール

古代米から生まれた鮮やかなピンク色。フルーティーで爽やかな風味と深い味わいが、口の中に広がります。  
(勇心酒造株式会社)



### 海の幸・山の幸がぎゅっと詰まったおかず味噌 にんにくいりこ味噌

香川県産の野菜を県外に発信させるためみそもニンニクもいりこも、地元の素材にとことんこだわった人気商品です。  
(オフィス十夢(とむ))



### 香川県オリジナル品種の黒豆から生まれた 讃州大黒

讃岐産の黒豆のなかでも特に大粒で品質の良い「讃州大黒」を六昼夜手間暇かけて仕込んだという菓子。讃岐特産の和三盆で仕上げました。  
(株式会社夢葉房たから)



### 鮮やかな色合いとおいもの風味がうれしい 紫芋クッキー

岡山県玉野市の番田産のサツマイモが原材料。着色料は使わず、ムラサキイモが作り出す美しい色合いのクッキー。素朴な甘さが特長です。  
(株式会社なかや宗義)



### 小豆島産100%の限定販売 エキストラバージン オリーブオイル

自社農園で大切に栽培した手摘みのオリーブ。年間600kgしか製造できない貴重なオイルです。瀬戸内海の光と風が育てました。  
(株式会社三枝造園)



### 日本一のうちわの産地から 丸亀うちわ

江戸から続く歴史ある「丸亀うちわ」。現在は、全国竹うちわ生産量の8-9割のシェアを占めています。一本の竹から生まれる美しさ。  
(うちわ工房 三谷)



高松港総合インフォメーションセンターや  
置島インフォメーションセンター、  
宇野インフォメーションセンターの公式ショップなどで販売します。  
ぜひお買い求めください。

## 瀬戸内国際芸術祭2013

※瀬戸内国際芸術祭実行委員会がクリエイターと協力し、商品やデザインを公募のうえ、名産品のパッケージをリニューアルしたものです。

# 瀬戸内の名産品 リデザインプロジェクト

公募によるパッケージデザインでお届けする名産品の数々。  
お土産にも、旅の思い出にもぴったりのラインアップです。

瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局  
〒780-0019香川県高松市サンポート1-1高松港旅客ターミナルビル6F  
TEL087-813-2244 <http://setouchi-artfest.jp>

※価格未定。一部パッケージデザインは変更する場合があります。



### だしはもちろん、そのまま食べて良し 瀬戸内いりこ

さぬきうどんでおなじみのいりこだし。伊吹島のいりこは、瀬場の海から加工場まで近く、新鮮なまま加工でき、うま味たっぷりに仕上がります。  
(株式会社ダイブ)

全国の市場で高い評価を得ている  
香川県のブロッコリー  
こんもりとした緑の花蕾はもちろん  
茎や芯までほっくりとおいしく  
誰もが「品質がよい」という  
そのおいしさのヒミツを探ってみたい

BROCCOLI

おいしさのヒミツ

# 香川の ブロッコリー

秋から春にかけての野菜として知られるブロッコリー。おいしいブロッコリーを育てる努力は盛夏から始まっていた。香川県まんのう町の畑では、真夏になると家畜の飼料として知られる。ソルガムが2〜3倍もの背丈に育つ。このイネ科の植物をトラクターですき込み、緑肥として土作りを行い、さらに3年に一度は鶏ふんを畑に入れる。そうすると、パウダースノーのようなフワフワの土になる。その上等なベッドで、高品質のブロッコリーは育つ。「人間と同じで、良い環境の中ではゆがみなく真っ直ぐに育ち、味も良くなる」と、香川県野菜花き生産者研究会ブロッコリー部会長の丹野さんは語る。

この丹野さんが作り上げる土でも、同じ品種のブロッコリーを栽培し続けるのは難しい。そこで、次の推奨品種を決定するため、何年も前から試験栽培を行う。その幾つもの品種の中から、良いものを選び、面積を増やして栽培し、成功すればいよいよ本格栽培だ。  
そうして選抜された品種は、今シーズンで約12種類もある。夏に強い品種、



寒さに耐える品種と、10月初旬ころから6月初旬ころまで出荷するための工夫である。今年、おいしいブロッコリーが収穫できるのは、実は何年も前から努力の結果であった。

まんのう町で新たに挑戦するのは、高原野菜のように夏に山間部で育てることだ。9月初旬の出荷を目指し、今年から本格栽培に挑戦する。

ビタミンCが豊富で、葉酸やビタミンE、Kなどもたっぷり含まれているブロッコリーは、シチューに煮物、八宝菜と和洋中を問わず使える万能野菜。あまり湯がき過ぎず、シャキッとした歯ごたえを残すのが、おいしく食べるコツ。そして、生産農家が発見したのが、芯を使った料理。いつもは捨ててしまう根元も分厚く皮をむいて短冊や千切りにすれば、絶品の酢の物や炒め物の素材となる。食物繊維たっぷりの芯までおいしい。

氷詰めの出荷により新鮮なことで知られる香川のブロッコリー。氷の大きさにも工夫凝らし、さらにみずみずしいおいしさを春の日にお届けする。

香川産  
せとうち旬新館  
KAGAWA SEIKO  
SETOUCHI SHUN SAI KAN



注目はこれ!

「瀬戸内国際芸術祭2013」  
フェア開催 (期間:3月1日~5月31日)



瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせ、1階の「特産品ショップ」には、小豆島のオリーブオイルや化粧品、ドーナツなどのオリーブ商品ははじめ直島の特産品で、太陽の光をじっくり浴びた天日干しの塩「SOLASHIO」を使った商品など島々の商品を取りそろえる他、瀬戸内の名産品デザインプロジェクト商品も順次取り扱っていきます。

2階の「かおりひめ」では、讃岐でんぶくやニシ貝など、瀬戸内海の幸が味わえる料理を提供します。ぜひお立ち寄りください。

【交通のご案内】  
○JR「新橋駅」銀座口から徒歩1分  
○東京メトロ銀座線「新橋駅」2番出口すぐ  
○ゆりかもめ/都営浅草線「新橋駅」から徒歩3分  
○都営大江戸線「汐留駅」から徒歩5分

〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10 新橋マリンビル1,2階  
http://www.setouchi-shunsaikan.com  
観光交流コーナー TEL03-3574-2028

〔東京で味わえる香川の恵み〕

香川の食材に東京で出合った。  
まずは東京で。次はぜひ本場香川へ



上品な甘みの「和盆プリン」

香川県で江戸の昔から作られ、昔に愛されてきた特産品である「和盆プリン」。今も昔ながらの製法を守り続けています。

その和盆プリンを使ったプリンがお客様に好評だと話して下さったのは、フランス料理店「フランネル」の井上シェフ。「和盆は普通の砂糖とは甘さが違います。だから普通のプリンとは全く違う上品な味が提供できるのです。ただ甘いだけではなく、また食べてみたくなる、後を引くような甘さ・風味に仕上がっています」と教えてくれました。

2年前に香川県への食材ツアーに参加し、和盆プリンを一口食べてすぐに気に入ったと言います。和盆という材料にこだわって、分量を工夫しながら自分の味を完成させたそうです。濃厚だけれど上品な甘みのプリンをぜひご賞味ください。



「和盆プリン」が  
3月のメニューに登場

【フランネル】  
東京都世田谷区奥沢五丁目23-21  
TEL 03-3718-7101  
http://www.fanelle-saganotei.com/

「春のさぬきうまいもん祭り」を開催 (期間:3月1日~22日)

東京都内の24店舗で、オリーブ牛や讃岐コーチン、瀬戸の地魚、アスパラガスなど、お饗めの香川県産食材を使ったメニューが登場します。

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 丸の内ホテル 東京ジャンブル(大手町)   | フランネル(奥沢)                |
| ISOLA 丸の内(銀座)         | 糖糖野牛(奥沢)                 |
| 日本料理 いんか 銀座店(銀座)      | 萬月(奥沢)                   |
| たいあいびん(日本橋)           | イタリアンレストラン イノウエ(自由が丘)    |
| 日本橋 ゆかり(日本橋)          | カステネット(自由が丘)             |
| 藤布長江 香福館(西麻布)         | まっぺん(自由が丘)               |
| 万寿輪亭(東麻布)             | フィッシュバーン 自由が丘店(自由が丘)     |
| HATAKE AOYAMA(南青山)    | スプーン プレッド 自由が丘(緑が丘)      |
| 四国味道場 88号(六本木)        | ワインショップカフェ&グリル深沢1136(深沢) |
| ひか紗 六本木店(六本木)         | 八雲ダイニング1+7(八雲)           |
| DO-ZO 赤坂Blitzタワー店(赤坂) | オステリア ビッコロマゴ(北千葉)        |
| 讃岐うどん野5ばー内神田店(神田御町)   | (順不同)                    |
| 自由が丘 Children(奥沢)     |                          |

詳細は「LOVEさぬきさん」http://www.kensanpin.org/で。

新たな県産品アンテナショップ  
かがわ物産館「栗林庵」がオープン



3月下旬に栗林公園の東門横(駐車場横)にオープンするかがわ物産館「栗林庵」

うどんに和盆、しょうゆやオリーブ関連商品などの人気商品をはじめ、香川漆器や丸亀うらち、讃岐かがり手まりなどの伝統的工芸品、旬のさぬき漬フルーツやスイーツ、かがわ県産品コンクールの入賞商品など、お土産に、日常使いにとお薦めの県産品をそろえています。

オープン記念として「うどん県、それだけじゃない香川県」の栗林庵オリジナル商品も、期間・数量限定で販売します。

「香川のうまいもん・ええもん」がたくさんそろっているかがわ物産館「栗林庵」にぜひお立ち寄りください。

【お問い合わせ】  
香川県産品振興課 TEL087-832-3375  
香川県栗林公園観光事務所 TEL087-833-7411  
http://www.kensanpin.org/about/bussankan.php



いろいろな人に助けられて (香川に移住)

テレビやインターネットなどの情報で想像する香川県といえば、職人の県、アートの県で、空気がきれいなところというイメージ。いつか環境の良い場所で暮らしたいと、お母様とよく話をしていたそうです。

昨年4月に開催された東京での移住フェアに参加した後、東京人材Uターンコーナーの移住・交流コーディネーターと何度かやり取りをするうちに、漠然としたイメージから現実に、昨年8月、小宮山和香さんは千葉県から高松市に移住されました。

移住で一番困ったのが仕事と家探し。いろいろな人に助けってもらったそうです。

「自転車でもどこまでも行けること、金時エンジンや小原紅早生(みかん)など食べ物が新鮮でとても美味しいことに感激しています。今の楽しみは、自転車で大好きなカフェを巡ること。街中のビルの間から山が見える景色もお気に入りです」と笑顔で話してくれました。今度は助けてもらった人達に、得意な足もみで恩返ししたいと、香川暮らしを楽しんでいるようでした。



小宮山和香

【お問い合わせ】  
香川県地域づくり推進室 TEL087-832-3125  
http://www.pref.kagawa.jp/seisaku/eeekagawa/



「かがわ暮らしガイドブック」ができました。

「瀬戸内国際芸術祭2013」  
企画発表会in大阪

2月に大阪で「瀬戸内国際芸術祭2013」の企画発表会を行いました。

福武健一郎総合プロデューサーをはじめ北川フラム総合ディレクター、建築家の安藤忠雄氏にもご参加いただき、約100人の報道や旅行エージェンツの方にPRしました。

直島に新美術館を開館する安藤氏は、今も残る古民家の外観を残しながら、内部はコンクリート建築とし、心の風景を次世代にもつないでいきたいと語りました。

「アートと島を巡る瀬戸内海の四季」をテーマに、芸術祭は22の国と地域から175の作家・プロジェクトが参加し、201作品と40のイベントが展開されます。

いよいよ3月20日に開幕。瀬戸内海の四季を感じながらアートと島を巡る旅をどうぞお楽しみください。

【お問い合わせ】  
瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局  
＜平日＞TEL087-813-0741  
＜土日祝＞総合インフォメーション  
TEL087-813-2244  
http://setouchi-artfest.jp/



作品鑑賞(バスガイド)は、香川県大阪事務所・香川県東京事務所でも取り扱っていますので、ご利用ください。  
香川県大阪事務所 TEL06-6281-1661  
香川県東京事務所 TEL03-5212-9100

世界に広がる交通ネットワーク



国内だけでなく世界にもつながる拠点として飛躍する「高松空港」。

この春、ソウル線・上海線に加え、新たな国際定期航空路線として、高松-台北線が、3月21日から週2往復で開設されます。台北線は、四国初の定期路線として台湾を結ぶだけでなく、東南アジアをはじめ世界各地への乗り継ぎにも便利です。

さらに、新しく国際線ターミナルビルが増設され、四国の拠点空港として施設面も充実します。

空からのアクセスの他に、陸からのアクセスといえば「瀬戸大橋」。これまで、人的交流や経済発展に大きな役割を担ってきました。その瀬戸大橋が、今年で開通25周年を迎えます。これを記念し、県外からの道路の利用者に抽選で県産品をプレゼントするなどイベントを実施していきますので、どうぞお楽しみに。

充実する交通ネットワークで、香川のますますの発展が期待されます。

【お問い合わせ】  
香川県交通政策課 TEL087-832-3132  
http://www.takamatsu-airport.com/  
http://www.pref.kagawa.jp/kotsu/seto-ohashi/



同誌に登場した「瀬戸内国際芸術祭2013」も特製しました。誌とアートを通して、もっと香川を知りたい方は、今から読者さまともつながりましょう。